

# 橋梁技術発表会 及び 講演会

参加費 **無料**

申込先着順

定員 **250名** web参加 **500名**

【ライブ配信予定!!】



第1部	13:30~13:35	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会 副会長 石原 康弘
技術発表	13:35~14:10	① 高速道路橋を2週間の通行止めで架け替え ~首都高速1号羽田線 高速大師橋 約300m区間のリニューアル工事~ 架設小委員会	
	14:10~14:45	② 鋼橋におけるDXの取り組み ~鋼橋事業の生産性・安全性の向上~ DX推進特別小委員会	
	14:45~14:50	休憩	
	14:50~15:25	③ ブライラ橋の建設工事報告 ~東欧最長の長大吊橋建設~ 海外事業委員会	
	15:25~15:35	休憩	
第2部	15:35~16:35	九州地方整備局における 働き方改革の取り組みについて	国土交通省 九州地方整備局 企画部 技術調整管理官 阿部 成二 
16:35~16:40	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 生駒 元	

日時 令和6年 **11月15日** (金)  
13:30~16:40

開催地区 ●東京地区:10月 4日(金) ●中部地区:11月 1日(金)  
●大阪地区:10月18日(金) ●九州地区:11月15日(金)  
●北海道地区:10月25日(金) ●東北地区:11月28日(木)  
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布 会場では配布いたしません。必要に応じてWebサイトより出力し持参願います。11月8日掲載予定

会場 **レソラNTT  
夢天神ホール5F**  
福岡市中央区天神2-5-55

申し込み Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>  
受付は令和6年10月15日~11月5日  
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所  
〒812-0011 福岡市博多区銀天町2-2-28  
(CROSS福岡銀天町)日本車輛製造(株)内  
TEL. 092-593-0101

継続教育 会場参加はCPDS対象 Web参加は対象外



- アクセス
- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
  - 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
  - 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
  - JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
  - 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
  - 天神バスセンターから徒歩3分

## 1 高速道路橋を2週間の通行止めで架け替え

多摩川にかかる首都高速1号線(高速大師橋)は、1968年11月の開通から50年以上が経過し、1日約8万台の自動車交通による過酷な使用状況などから、橋梁全体に1200か所以上の疲労き裂が発生していました。構造物の長期的な安全性を確保する観点から疲労損傷が発生しにくく、長期の耐久性と維持管理性を備えた構造の橋梁へ更新(造り替え)を行うこととなりました。本事業では、交通への影響のほか、一級河川・多摩川や近隣住居に対する影響低減が求められたため、仮設の迂回路を設けず、既設橋の下流側に新設橋を架設し、壁高欄・基層舗装を施工した後、既設橋と新設橋を上流側にスライドさせる一括横取り工法を採用し、約2週間の通行止め期間で重さ約4,500t(附属物を含む)、長さ292mの橋梁を一挙に架け替え、その後、表層舗装・区画線等を施工し予定通り供用を開始しました。本発表では新設橋の架設、一括横取り、交通解放まで一連の作業について報告します。

## 2 鋼橋におけるDXの取り組み

日本橋梁建設協会や会員会社に取り組んでいるDXに関する事例を紹介します。今回の発表内容は、①建設業の現状と課題、②i-Constructionの動向、③DXの取り組み、④BIM/CIM原則適用、⑤鋼橋のデータ連携、の5つの項目を挙げています。

建設業の現状と課題では、建設業就労者数の減少と高齢化という課題を図示して説明しています。就業者数に加えて、労働生産性の推移についても他産業と比較したグラフを示し、課題として挙げています。次に、i-Constructionの動向として、平成27年に国交省より発表された目的や全体イメージを提示しています。

鋼橋におけるDXの取り組みは、①測量・地質調査、②設計・施工計画、③工場製作、④施工、⑤検査・納品、⑥維持管理の6項目に分類して、各々の具体的な事例を紹介しています。

その後、令和5年度から施行されているBIM/CIM原則適用を説明し、当協会におけるCIMモデルの活用事例を報告します。最後に、鋼橋の自動設計システムから自動原寸システムへのデータ連携を説明します。

## 3 ブライラ橋の建設工事報告

ブライラ橋はルーマニア東部の主要都市であるブライラ市とドナウ川対岸のジジラ地区をつなぐ国道の一部で、ルーマニア国内最長、EU域内では第3位の中央径間長(1120m)の吊橋です。本工事はルーマニア初の長大吊橋になりましたが、日本の高い技術力および上下部工一式のデザインビルの利点を最大限に活かし、構造形式や施工方法など、品質・工程・コストの最適化を図り設計および建設を行いました。本工事の特徴は以下のとおりです。

- ・ 主塔: コンクリート主塔の施工にスリップフォーム工法を採用。コールドジョイント低減による品質向上および24時間施工による工程短縮。
- ・ 主ケーブル: 日本では3例しか適用事例がないものの、海外では主流のエアスピニング工法による施工。  
制御運転システムの研究開発による架設効率の改善。
- ・ 補剛桁: 現地造船所での製作による環境負荷低減。架設用ストランドジャッキのモジュール化による設備の軽量化と機動性向上を実現。

### 特別講演会 講演者紹介

国土交通省 九州地方整備局 阿部 成二  
企画部 技術調整管理官

#### 講演テーマ

## 九州地方整備局における働き方改革の取り組みについて

#### 【略歴】

S41年 熊本県生まれ  
S60年 建設省入省  
H25年 企画部 技術管理課長補佐  
H27年 河川部 建設専門官  
H28年 遠賀川河川事務所副所長  
H29年 水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室課長補佐  
H31年 立野ダム工事事務所長  
R 3年 武雄河川事務所長  
R 5年 現職

#### 【講演概要】

今年4月から建設業において時間外労働の上限規制が適用されました。この対策として、昨年度より、各県ブロックの発注者・現場技術員・建設業協会等に対し「働き方改革の九州地整の新たな取組み」のキャラバンを実施したことに加え、説明会動画をYouTube配信し、整備局HP等においても周知・浸透を図った。上記の取り組み内容などについて紹介する。

令和6年度

橋梁術発表会

九州地区

11月15日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会  
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」の  
申し込みはこちら。